

## 体育科 3年

単元	I 体つくり運動 I (体ほぐし・いろいろな動き)			4月(4時間)
目標	きまりを守って友達と仲よくしながら、多様な動きのポイントを見付けて、用具を操作する運動や体のバランスをとる運動ができる。			
評価規準	(①知・技) 体のバランスや移動、用具の操作の仕方を理解し、力試しの動きができる。 (②思・判・表) よい動きを見付けて自分の運動に取り入れるとともに、考えたことを友達に伝えている。 (③主体的態度) きまりを守り、互いに励まし合って、用具の安全を確かめながら進んで運動に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○試しの用具を操作する運動や体のバランスをとる運動を行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>いろいろな動きに挑戦したり、用具を操作したり、バランスをとったりすることができるようになろう</b>	○体つくり運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しをもてるよう、「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの活動に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	I	○フラフープ回しやフラフープジグザク走などの用具を操作する運動やケンケンずもうなど体のバランスをとる運動に挑戦する。	○互いの動きを見合えるように、ペアや兄弟グループを編成する。	◇友だちの用具を操作するよい動きや体のバランスをとる動きを見付け、伝えたり、記述したりしている。 <学習プリント②>
	I	○ジャンケンすごろくやまねっこランニングなどの体を移動する運動や押しづもうなどの力試しの運動に挑戦する。	○それぞれの運動の行い方を知り、動きのポイントを捉えられるように、力の加え方、バランスのとり方などのコツを全体で共有する。	◇運動の行い方を理解し、体を移動する運動や力試しの運動の動きを取り入れている。 <行動①>
まとめる	I	○発表会を行い、できるようになった動きに取り組み、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「体つくり運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇体つくり運動におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>

## 【備考】

- ・集団行動については、各単位時間に位置付け、定着できるようにする。
- ・グループ編制については、力量や体格（体重）が同じくらいの子どもで組むようにする。
- ・準備体操については体育部で全学年共通のものを提示する。
- ・フラフープジグザグ走はフラフープを転がし、動いているフープの中を交互にくぐり抜け、何回できるか競う。
- ・すもうは片足、両足、ラインの上で、用具で引いたり押したりするなど様々なルールで取り組むようにする。

## 体育科 3年

単元	2 かけっこ・リレー			4・5月(5時間)	
目標	きまりを守って仲よくし、走り方やバトンパスの仕方を工夫しながら、調子よく走ったり、タイミングよくバトンパスをしたりして、かけっこ・リレーができる。				
評価規準	(①知・技) 75mを調子よく走る動き、タイミングよくバトンを受け渡すを行い方を理解し、かけっこ・リレーができる。 (②思・判・表) 75mの走り方、バトンをもらうスタートのポイントやスピードを落とさないバトンパスのポイントを見付け、課題に合った練習方法を選んだり、考えたことを友達に伝えたりしている。 (③主体的態度) 安全に気を付け、きまりを守って仲よくかけっこ・リレーをしようとしている。				
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
つかむ	1	○試しの75mの個々のタイムや全員リレーのタイムの計測をし、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>記録会へ向けて、走り方やバトンパスのスタートポイントを見付けて、かけっこ・リレーをしよう</b>	○ならびっこベースボールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「かけっこ・リレーの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇ならびっこベースボールに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>	
追究する	2	<b>活動①</b> ○走り方やバトンパスの仕方のポイントを見付け、試行する。	<b>活動②</b> ○走り方やバトンパスのポイントを踏ました75m走、リレーに挑戦する。	○75mを速く走るための動きのポイントに気付けるように、「腕の振り方」「目線」「脚の上げ方」の観点を提示する。	◇腕を大きく振る、前を向く、足を高く上げるなどの動きのポイントを記述したり、伝えたりしている。 <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>
	1	○バトンを受け取るポイントを見付け、試行する。	○バトンを受け取る動きのポイントを踏ましたリレーに挑戦する。	○動きのポイントに合った練習できるように、練習の場を複数用意する。  ○わきを締めて手を高い位置に保持してバトンを受け取るというポイントを踏ましたバトンパスができるように、互いに動きを見合い、教え合う場を設定する。	◇スピードを落とさずにバトンを受け渡すを行い方を理解し、リレーができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇脇を締めて手が高い位置でバトンを受け取るを行い方を理解し、リレーができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>
まとめ	1	○記録会で今までのポイントを踏ましたリレーに挑戦し、友達のよい動きや頑張りを認め合い、学習のまとめをする。		○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「かけっこ・リレーの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇かけっこ・リレーにおけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
<b>【備考】</b> ・準備:バトン、コーン、ビブス					

## 体育科 3年

目標	3 鉄棒運動			5月(6時間)
目標	互いに励まし合い、動きのポイントを見付けて、課題に合った練習を選んだり、考えたことを伝え合ったりして補助逆上がり、だるま回りができる。			
評価規準	(①知・技) 補助逆上がり、だるま回りの行い方を理解し、安定した補助逆上がり、だるま回りができる。 (②思・判・表) 補助逆上がり、だるま回りの動きの中で腰の位置、踏み切り位置、振り上げ足、膝の曲げ伸ばしのポイントを見付け、自分の動きと比べて、課題に合った練習方法を選んだり、考えたことを友達に伝えている。 (③主体的態度) グループで安全に気を付けながら、補助逆上がり、だるま回りに仲良く取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ		○試しの鉄棒運動（技調べ）を行い、共通のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">           共通のめあて            鉄棒発表会に向けて、補助逆上がり、だるま回りに取り組み、技をできるようにしよう         </div>	○鉄棒運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しをもてるよう、「鉄棒運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの鉄棒運動（技調べ）に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する		○補助逆上がりの動きのポイントを見付ける。	○補助逆上がりの動きのポイントに気付けるように「腰の位置」「踏み切り位置」「振り上げ足の方向」を観点として提示する。	◇補助逆上がりの足を勢いよく振り上げて、腰を鉄棒につけて回るというポイントを記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>
		○自分の課題に合った練習方法で、補助逆上がりに取り組む。	○補助逆上がりの動きを身に付けられように、踏み切りの位置を視覚化する飛び箱と踏み切り板、振り上げ足の位置を視覚化する風船棒を用意する。	◇足を振り上げて、腰を鉄棒につけて回る動きの行い方を理解し、補助逆上がりができる。 <行動①>
		○だるま回りの動きのポイントを見付ける。	○だるま回りの動きのポイントに気付けるように膝の曲げ伸ばしを観点として提示する。	◇だるま回りの膝を曲げ伸ばして振るというポイントを記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>
		○自分の課題に合った練習方法で、だるま回りに取り組む。	○だるま回りの動きを身に付けられるように、膝の曲げ伸ばしを視覚化する回れたかなシートを用意する。	◇膝を曲げ伸ばして振る行い方を理解し、だるま回りをすることができる。 <行動①>
まとめる		○「鉄棒発表会」で今までのポイントを踏まえ補助逆上がり、だるま回りに取り組み、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「鉄棒運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇鉄棒運動におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>
<b>備考】</b> ・安全確保のために、鉄棒の下にマットを敷いたり、補助の仕方や着地の仕方を説明したりする。 ・個々の能力に応じたスマールステップの場を設定する。 ・準備：防災座布団、柔道帯、逆上がり補助器 ・体育館でも実施することが可能である。 ・基礎感覚運動 (例) つばめ、ふとんほし、こうもり、ダンゴ虫、ぶたの丸焼き				

## 体育科 3年

単元	4 ならびっこベースボール			5・6月(8時間)
目標	互いに協力し、みんなが楽しめるルールや作戦を工夫しながら、考えたことを友達に伝え合い、空いているところにボールを打って攻撃したり、ボールを捕って守ったりして、ならびっこベースボールができる。			
評価規準	(①知・技) 空いているところへ打ったり、ボールを捕った後ベースへ向かって動いたりする攻守の行い方を理解し、ならびっこベースボールができる。 (②思・判・表) みんなが楽しめるルールを考えたり、簡単な作戦を選んだり、考えたことを友達に伝えたりしている。 (③主体的態度) 規則を守り、互いに協力して公正にゲームをしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○試しのゲームを行い、共通のめあてや自分を立てる。 —共通のめあて— ならびっこベースボールで空いているところにたくさん打ったり、点を取られないように守ったりできるようにしよう	○ならびっこベースボールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「ならびっこベースボール運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇ならびっこベースボールに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。  <学習プリント③>
追究する	3 3	活動① ○バッティング、捕球のポイントを見付け、ドリルゲームを試行する。  ○点を取られない守りのポイントを見付け、タスクゲームを試行する。	活動② ○バッティングや捕球のポイントを踏まえた「ならびっこベースボール」を行う。  ○ボールの正面へ移動して捕ることや腰を捻ってバットを振る動きのポイントを見付けることができるよう、「バットの握り方」「足の位置」など観点毎に見合う場を設定する。  ○ボールの正面へ移動して捕ることや腰を捻ってバットを振る動きを身に付けることができるよう、チーム内で繰り返しドリルゲームに挑戦し、動きのポイントを伝え合う場を設定する。  ○確実にアウトにするためのポイントを見付けることができるよう、「どこへ」「どのように」という観点を基に話し合える場を設定する。  ○自分たちで考えた作戦を成功できるように、作戦を繰り返し挑戦する活動を設定する。	◇腰を捻って振ることやボールを体の正面で捕球するという打ち方や捕球のポイントを記述したり、伝えたりしている。  <学習プリント②>  ◇腰を捻ってボールを打ったり、ボールを正面で捕球したりする攻守の行い方を理解し、ならびっこベースボールができる。  <行動①>  ◇ボールを捕球した位置によってアウトにするベースを判断するというポイントを記述したり、伝えたりしている。  <学習プリント②>  ◇確実にアウトにするベースへ移動する守り方を理解し、ならびっこベースボールができる。  <行動①>
まとめる	1	○ならびっこベースボール大会を行い、友達のよい動きや頑張りを認め合い、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「ならびっこベースボールの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇ならびっこベースボールにおけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。  <学習プリント③>

## 【備考】

- ・チーム編制については、男女混合、グループ間等質の6グループを試しのゲームの様子や個々の運動能力などを基に行う。
- ・ゲームについては、始めと終わりの挨拶をきちんと整列して行うようにする。ファイトコールの仕方を工夫させていく。
- ・準備：ティー（コーンと牛乳パックで作成可）、バット、キッズハンドボール、得点板、ビブス

## 体育科 3年

単元	5 表現運動			6・7月(5時間)
目標	友達と関わり合いながら、題材の特徴に合わせた動きを工夫して、ひと流れの動きを体全体で表現できる。			
評価規準	(①知・技) 題材の特徴に合わせた動きを中心に、ひと流れの動きを理解し、体全体で表現できる。 (②思・判・表) 題材の特徴に合わせた動きを見付け、表現の仕方を工夫し、考えたことを伝えている。 (③主体的態度) 友達と関わり合いながら、気持ちを合わせて楽しく踊ろうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○「お手伝い」という言葉から連想されるものを次々に踊る試しの表現運動を行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>動きを工夫して『お手伝い大作戦』の作品づくりに取り組んで、表現運動をしよう</b>	○表現運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「表現運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇表現運動に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	3	<b>活動①</b> ○小テーマの特徴的な動きを、即興的に踊る。  <b>活動②</b> ○テーマに合った動きを工夫して、表現運動を行う。    時間目…「料理」 2時間目…「洗濯」 3時間目…「掃除」	○グループで動きを決めたり、特徴を見付けたり、動きを合わせたりするなどの工夫ができるように、「リーダーに続け」という、一人一人が順番に動きを出し合う活動を設定する。  ○お手伝いの動きの特徴を表すよさに気付くことができるよう、表したいお手伝いの動きについて、体の部位を観点として、話し合う場を設定する。  ○工夫しているグループのよい点を取り入れができるよう、体全体を使った大きな動きとして「へそが動く」という視点に基、互いの動きを見合う活動を設定する。	◇「料理」の場面からイメージに合った特徴を表す大きい小さいのような動きのポイントを記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>  ◇「洗濯」の場面を基に自分のイメージを膨らませながら、題材の特徴に合わせた動きを考え、記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>  ◇「掃除」の場面を基に自分のイメージを膨らませながら、題材の特徴に合わせた動きを理解し、体全体を使って表現している。 <行動①>
まとめ	1	○共通のテーマ「お手伝い大作戦」で簡単なひと流れの表現の発表会をする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「表現運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇表現運動におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>
<p><b>【備考】</b></p> <p>題材1 「料理」なっとう、天ぷら、ハンバーグ、目玉焼きなど *食べ物そのものになったり、料理を作る過程を表現したりするのもよい。</p> <p>題材2 「洗濯」洗う、しぼる、干す、たたむ、アイロン掛けなど又は「〇〇する△△」で考える。(例) 風にとばされるシャツ、からまる洗たくもの など</p> <p>題材3 「掃除」ぞうきん、モップ、掃除機、ごみなど *そのものをやったり、そうじをしているところを表現したりするのもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お手伝い」で、連想するものを書いていくというイメージマップを作るように促し、題材のイメージを広げられるようにする。</li> <li>・グループは3~4人組(多くて5名)をつくるようにする。</li> <li>・毎時間の導入では、リズムダンスをしたり、「走るー止まる」「伸びるー縮む」などの対称的な動きを即興で行ったりして、心や体をほぐすようにする。</li> <li>・表現では、グループを中心に一人一人の動きやイメージを大切にしながら、動きづくりをしていくようにする。</li> <li>・準備: リズム太鼓、フラッシュカード など</li> </ul> <p><b>共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの工夫とは「動きの誇張」「動きの変化」「動きの緩急」「動きの強弱」など</li> <li>・ひと流れの動き「はじめ」・「中」・「終わり」が設定されている。</li> </ul>				

## 体育科 3年

単元	6 面かぶりクロール			7月(8時間)	
目標	きまりを守って友達と仲よくしながら、自分の課題を解決できるように練習を工夫して、面かぶりクロールができる。				
評価規準	(①知・技) 太ももを上下させたキックをし、肘を水面から出してかく動きの行い方を理解し、面かぶりクロールができる。 (②思・判・表) 自分の力に合った課題をもち、肘を水面から出してかく面かぶりクロールのポイントを見付け、考えたことを伝えている。 (③主体的態度) 友達と仲よく、プールのきまりを守って安全に水泳をしようとしている。				
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
つかむ	1	○試しの面かぶりクロールをして共通のめあてを立てる。 <b>○共通のめあて</b> <b>○ポイントを見付けて、面かぶりクロールができるようにしよう</b>	○面かぶりクロールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの面かぶりクロールに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>	
追究する	6	<b>活動①</b> ○それぞれの動きのポイントを見付けて挑戦しよう。  <b>1・2時間目…伏しき・けのび</b> <b>3・4時間目…バタ足</b> <b>5・6時間目…面かぶりクロール</b>	<b>活動②</b> ○ポイントを踏まえた面かぶりクロールに挑戦する。	○動きの行い方を知り、動きのポイントを捉えることができるよう、「指先」「肘」「みぞおちが重心」などの観点を提示する。  ○互いの動きのポイントを見合うことができるように、ペアを編制する。  ○よい動きを見付けたり、動きを身につけることができたことを確認したりすることができるように、動きを振り返る場を設定する。	◇伏し浮きやけのびをするための動きのポイントを見付け、伝えている。 <b>&lt;行動②&gt;</b>  ◇太ももを動かして上下させる行い方を理解し、バタ足をすることができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇肘を水面から出してかくという面かぶりクロールのポイントを伝えている。 <b>&lt;行動②&gt;</b>
まとめる	1	○記録会で今までのポイントを踏まえた面かぶりクロールに挑戦し、学習のまとめをする。		○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「水泳運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇水泳運動におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <b>&lt;行動③&gt;</b>

## 【備考】

- ・プールでは、他の学級と同時学習が多く、練習場所が限られたりするので、片側通行や前の泳者との間隔など効果的に使用する場の工夫をする。
- ・準備：練習ノート、ビート板、ヘルパー、ペットボトル、AED

## 体育科 3年

単元	7 体つくり運動Ⅱ（体ほぐし・いろいろな動き）			9月（4時間）
目標	きまりを守って友達と仲よくしながら、多様な動きのポイントを見付けて、体を移動する運動や力試しの運動ができる。			
評価規準	(①知・技) 体を移動する動きや押し合う動きを理解し、体を移動する運動や力試しの運動ができる。 (②思・判・表) 運動の行い方を知り、よい動きを見付けたり、選んだりして、自分の運動に取り入れている。 (③主体的態度) きまりを守り、互いに励まし合って、用具の安全を確かめながら進んで運動に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ		○試しの体を移動する運動や力試しの運動を行い、共通のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共通のめあて—</div> いろいろな動きに挑戦し、体を移動する運動や力試しの運動をできるようにしよう	○体つくり運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇体つくり運動に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する		○ケンケンや両足ジャンプ、手足走り、うさぎ跳びなどの体を移動する運動に挑戦する。	○互いの体を移動する動きを見合うことができるよう、ペアや兄弟グループを編制する。	◇友だちの移動する動きのよいところを記述している <学習プリント②>
		○おんぶジャンケンやおんぶりレー、アザラシリレーなどの力試しの運動に挑戦する。	○力試しの運動の動きのポイントを踏まえた動きができるよう、繰り返し挑戦する活動を設定する。	◇友達をおんぶして歩いたり、腕支持で前進する力試しの動きができる。 <行動①>
まとめる		○体つくりカーニバルで今までのポイントを踏まえた体つくり運動に挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「体つくり運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇体つくり運動におけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>
<b>【備考】</b> ・グループ編制については、力量や体格（体重）が同じくらいの子ども同士で組めるようにする。 ・リレーでは、子ども達から動物の動きのアイデアを募り、取り入れる活動を設定するとよい。				

## 体育科 3年

単元	8 運動会めざして			9月（5時間）
目標	きまりを守ってみんなで仲よく、走り方やバトンゾーンの使い方、遊競技の動き方を工夫して、かけっこ・リレー、遊競技ができる。			
評価規準	(①知・技) 運動の行い方を理解し、リレーや遊競技でバトンを渡したりもらったりして調子よく走ったり、タイミングよくバトンパスをしたりすることができる。 (②思・判・表) バトンをもらうスタートのポイントやスピードを落とさないバトンパスのポイントや、遊競技の動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度) 安全に気を付け、きまりを守って仲よくかけっこ・リレー、遊競技をしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>※太字は「記録に残す評価」
つかむ		○運動会の学年練習の内容を知り、試しのリレーや遊競技を行い、共通のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共通のめあて 運動会へ向けて、バトンパスや遊競技のポイントを見付けて、リレーや遊競技に挑戦しよう</div>	○運動会で目指していく動きや学び方の見通しがもてるよう、「リレーや遊競技の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのリレーや遊競技に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する		○バトンパスのポイントを踏まえたリレーに挑戦する。	○ゴーの合図で前を見て走るというポイントを気付けるように、目線という視点を基に、互いの考えを伝え合う機会を設定する。	◇ゴーの合図で前を見て走るというポイントを記述している。 <学習プリント②>
		○遊競技で移動する動きのポイントを見付け、遊競技に挑戦する。	○遊競技の用具を相手が捕りやすい位置や方向にして渡すというポイントを見付けられるように、持ち方の観点を基に、互いの考えを伝え合う機会を設定する。	◇相手が捕りやすい位置や方向にして渡すというポイントを記述している。 <学習プリント②>
		○移動する動きのポイントを踏まえた遊競技に挑戦する。	○遊競技の用具を操作したり、身に付けて移動したりすることができるよう、用具の操作や移動のよくできている児童の手本を基に、動きのポイントを伝え合う機会を設定する。	◇遊競技の行い方を理解し、用具を操作したり、身に付けたりして移動することができる。 <行動①>
まとめる		○リハーサルを行い、今までのポイントを踏まえてリレーや遊競技に挑戦し、友達といい動きや頑張りを認め合い、学習のまとめをする	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「運動会をめぜす楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇運動会をめざしてできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>
<b>【備考】</b> ・準備：バトン、コーンなど				

## 体育科 3年

単元	9 幅跳び			9月(6時間)
目標	幅跳びに安全に気を付けながら進んで取り組み、「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで幅跳びをすることができる。			
評価規準	(①知・技) 幅跳びの行い方を理解し、「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで助走をしたり、足の裏全体で踏切って跳んだり、両足で着地をしたりをすることができる。 (②思・判・表) 「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで跳ぶ動きや、足の裏を見せて着地する動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度) 幅跳びに進んで取り組み、幅跳びの行い方やきまりを守ったり、幅跳びの安全な行い方に気を付けようとしたりしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ		○試しの幅跳びを行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>幅跳び大会に向けて、幅跳びのポイントを見付けて挑戦しよう。</b>	○幅跳びの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「幅跳びの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの幅跳びに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する		<b>活動①</b> ○リズムよく跳ぶポイントを踏まえた幅跳びに挑戦する。  ○踏み切りのポイントを踏まえた幅跳びに挑戦する。  ○着地のポイントを踏まえた幅跳びに挑戦する。  ○これまでのポイントを踏まえた動きで、幅跳びに挑戦する。	<b>活動②</b> ○幅跳びの記録に挑戦する。	◇幅跳びの「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムでタ・タ・ターンのところのスピードを速くする動きを理解し、助走ができる。 <行動①>  ◇足の裏全体で踏んで踏み切ることを理解し、踏み切りができる。 <行動①>  ◇両足で着地することを理解し、着地ができる。 <行動①>  ◇自分の課題に合った練習方法を選び、活動したり、練習方法のよさを記述したりしている。 <学習プリント②>
まとめる		○幅跳び大会で今までのポイントを踏まえた幅跳びに挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「幅跳びの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇幅跳びにおけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>

## 【備考】

- ・踏切板(踏切り), ゴム(踏切り), ケンステップ(着地)等を使うとよい。
- ・グループ編制は走が同等になるように分け、グループ対抗の記録の伸びで競うとよい。

## 体育科 3年

単元	10 マット運動			10月(8時間)
目標	互いに励まし合い、動きのポイントを見付けて、前転や後転、腕立て横跳びこし、壁倒立ができる。			
評価規準	(①知・技) 前転や後転、腕立て横跳びこし、壁倒立の行い方を理解し、それぞれの技ができる。 (②思・判・表) 前転や後転のあごを引いて後頭部を付けて回転を始める動きや、腕立て横跳びこし、壁倒立のあごを上げて反る動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度) 互いに励まし合い、安全に気を付けながら、前転や後転、腕立て横跳びこし、壁倒立に挑戦しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○試しの前転や後転などを行い、共通のめあてる。 <b>共通のめあて</b> <b>発表会に向けて、前転や後転、腕立て横跳び越しに挑戦して、できるようにしよう</b>	○マット運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「マット運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのマット運動に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
追究する	3	<b>活動①</b> ○前転や後転、腕立て横跳びこし、壁倒立の基礎感覚運動に挑戦する。	○前転や後転の動きのポイントを見付けられるように、あごや頭という観点を基に、互いの考えを伝え合う機会を設定する。	◇前転や後転のあごを引いて後頭部を付けて回転するというポイントを記述している。 <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>
	2	<b>活動②</b> ○前転や後転の回転の動きのポイントを見付け挑戦する。	○前転や後転ができるように、その動きができている児童を基に、動きのポイントを伝え合う機会を設定する。	◇肩、背中、腰をマットに付けて回転することを理解し、前転や後転をすることができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>
	1	<b>○今までのポイントを踏まえた動きで前転、後転、腕立て横跳びこし、壁倒立に挑戦する。</b>	○腕立て横跳びこし、壁倒立であごを上げるという動きのポイントを見付けられるように、あごという観点を基に、互いの考えを伝え合う機会を設定する。  ○腕立て横跳びこし、壁倒立の蹴り足の練習方法を選ぶことができるように、手形シート、ミラーシート、蹴り足の目安のシートがある練習の場を設定する。  ○腕立て横とびこし、壁倒立ができるように、その動きができる映像を基に、動きのポイントを伝え合う機会を設定する。  ○これまで身に付けたことを生かして、安定した前転、後転、腕立て横跳びこし、壁倒立ができるように、自分の課題に合った練習の仕方を選んで挑戦する機会を設定する。	◇腕立て横跳びこし、壁倒立の動きに取り組む中で互いに見た動きを伝え合っている <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>  ◇自己の課題に合った場で練習方法を選んでいる。 <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>  ◇腕立て横跳びこし、壁倒立の行い方を理解し、それぞれの技ができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇安定した行い方を理解し、前転や後転、腕立て横跳びこし、壁倒立をすることができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>
まとめ	1	○発表会で今までのポイントを踏まえたマット運動に挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「マット運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇マット運動におけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>

## 【備考】

- ・準備: タブレット(教師), ゴムひも, ミラーシート, 手形シート, 壁に貼る蹴り足の目安のシート
- ・基礎感覚運動: ゆりかご, アンテナ, ブリッジ, うさぎ跳び, かえるの足うちなど
- ・補助がしやすいよう体格差が少ないグループ編成をする。

## 体育科 3年

単元	II タグラグビー			II月 (8時間)
目標	互いに協力し、動きを習得するための練習やみんなが楽しめるルールや作戦を工夫しながら、攻めや守りをして、タグラグビーができる。			
評価規準	(①知・技) 空いているところへ動いたり、友達の動きに合わせてパスしたりする。 (②思・判・表) みんなが楽しめるタグラグビーのルールを考えたり、友達と連携した簡単な作戦を立てたりしている。 (③主体的態度) 規則を守り、互いに協力して公正にタグラグビーをしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○試しのタグラグビーを行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>作戦を工夫して、タグラグビーでたくさん動いたり、得点したりして、タグラグビー大会で優勝しよう</b>	○タグラグビーの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「タグラグビーの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのタグラグビーに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
追究する	3	活動① ○パスのポイントを見付け、ドリルゲームを行う。	○パスの動きのポイントに気付けるように、「肘」をという視点を提示する。	◇肘を伸ばして投げるというポイントを記述している。 <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>
	3	○クロスなどの動きのポイントを見付け、タスクゲームをする。	○パスのポイントを踏まえ、パスを繋ぐことができるよう、「ボールを投げる位置」という視点を提示する。  ○クロスの動きのポイントに気付けるように、「移動する位置」、「タイミング」をという視点を提示する。	◇動きながら相手の正面へボールを投げて、パスをしてタグラグビーをすることができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>
まとめ	1	○タグラグビーハイクで今までのポイントを踏まえてタグラグビーに挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「タグラグビーの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇タグラグビーにおけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
<b>【備考】</b> ・グループ編制については、力量や体格（体重）が同じくらいの等質のチームを組めるようにする。				

## 体育科 3年

単元	I 2 跳び箱運動			I 2月(8時間)
目標	互いに励まし合い、動きのポイントを見付けて、開脚跳びや台上前転ができる。			
評価規準	(①知・技) 開脚跳びや台上前転の行い方を理解し、それぞれの技ができる。 (②思・判・表) 開脚跳びや台上前転の肩を着いた手より前に出す動きや、強く踏み切って腰を上げる動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度) 互いに励まし合い、安全に気を付けながら、開脚跳びや台上前転に挑戦しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	○試しの開脚跳びや台上前転を行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>発表会に向けて、開脚跳びや台上前転に挑戦して、開脚跳びや台上前転をできるようにしよう</b>	○飛び箱運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「飛び箱運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの飛び箱運動に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	2	活動① ○開脚跳びや台上前転の基礎感覚運動に挑戦する。	活動② ○開脚跳びの動きのポイントを見付け試行する。	◇手を着いた後、手より前に肩を出すなどの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>
	3		○台上前転の動きのポイントを見付け挑戦する。	◇飛び箱に着手し、飛び越すことができる。 <行動①>
	I		○台上前転の動きのポイントを踏まえて、動きを捉えることができるように、「肩」「着手の位置」という視点を提示する。 ○台上前転の動きのポイントを踏まえて、動きを捉えることができるように、「腰の位置」という視点を提示する。 ○台上前転の練習方法が選べるように、エバーマット、マットを巻いて高さを出した場といった教具や場を用意する。 ○台上前転ができるように、示範映像を基に、「着手の位置」を伝え合う活動を設定する。	◇手を着いた後、腰を上げるように回るなどの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②> ◇友達の台上前転の動きを見て、腰の位置を伝えている。 <行動②> ◇自己の課題に合った練習方法を選んでいる。 <学習プリント②> ◇台上前転の行い方を理解し、台の上で回ることができる。 <行動①> ◇動きの行い方を理解し、開脚跳びと台上前転をすることができる。 <行動①>
まとめ	I	○発表会で今までのポイントを踏まえた跳び箱運動に挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「飛び箱運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇跳び箱運動におけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>

## 【備考】

- ・準備:練習ノート、タブレット(教師)、ゴムひも、ビニールテープ、エバーマット、巻いたマット、手形シートなど
- ・場の例:飛び箱2台をつなげた場(同じ高さ、高さを変えて段差を付ける)、ステージに飛び上がったり跳び下りたりできる場、ロールマットの場など
- ・基礎感覚運動:うさぎ跳び、かえるの足うち、連続馬跳び、両手をついてのとび出し下りなど
- ・補助がしやすいよう体格差が少ないグループ編成をする。

## 体育科 3年

単元	13 なわとび・かけ足			12・1月(9時間)
目標	きまりを守って友達と仲よくしながら、かけ足や短なわとび、長なわとびのポイントを見付けて、かけ足なわとび運動ができる。			
評価規準	(①知・技) なわとびやかけ足の行い方を理解し、時間飛びやあやとび、交差飛び、友達の動きに合わせて連続長なわのなわとび運動、3分間のかけ足ができる。 (②思・判・表) 運動の行い方を知り、腕を大きく交差するなどの動きのポイントを見付け、自分の動きに取り入れている。 (③主体的態度) きまりを守り、互いに励まし合って、用具の安全を確かめながら進んでかけ足やあやとび、連続長なわとびに取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○試しのかけ足やあやとび、連続長なわ飛びを行い、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>3分間のかけ足やいろいろなとび方に挑戦し、3分間のかけ足やあやとび、連続長なわをできるようにしよう</b>	○なわとび・かけ足の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「なわとび・かけ足の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのなわとび・かけ足に取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
追究する	7	<b>活動①</b> ○3分間のかけ足のポイントを見付け、挑戦する。 <b>活動②</b> ○あやとびや連続長なわとびのポイントを見付け、挑戦する。	○互いの動きを見合い協力してポイントを見付けられるように、ペアや兄弟グループを設定する。  ○リズムよく膝をやさしく曲げる動きのポイントを踏まえてできるように、繰り返し挑戦する機会を設定する。  ○長なわの動きのポイントを見付けることができるよう、「なわにタイミング」を視点として提示する。  ○前の人の動きに合わせて入るという動きのポイントを踏まえてできるように、長なわとびに繰り返し挑戦する機会を設定する。  ○動きのポイントを踏まえた3分間のかけ足ができるように、繰り返し挑戦する機会を設定する。  ○繰り返し挑戦した成果が実感できるように、挑戦した成果を記録できる学習プリントを用意する。	◇短なわの動きのポイントや友達のよい動きを見付けている。 <b>&lt;行動②&gt;</b>  ◇一回旋一跳躍のとび方を理解し、3分間とび続けている。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇長なわに入るタイミングのポイントを記述している。 <b>&lt;学習プリント②&gt;</b>  ◇人やなわの動きに合わせて跳ぶことを理解し、長なわとびができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇一定のペースで走ることを理解し、3分間のかけ足ができる。 <b>&lt;行動①&gt;</b>  ◇ポイントを踏まえた動きで、3分間一定のペースで走り続けた頑張りを記述している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
まとめる	1	○プレなわとび大会で今までのポイントを踏まえたあやとびや交差飛び、連続長なわとびに挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「なわとび・かけ足の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇なわとび・かけ足におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <b>&lt;学習プリント③&gt;</b>
<p><b>【備考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短なわやかけ足では、リズムやタイミング、ペースの取り方などを2人組で行い、見合い・伝え合いながらする。長なわとびでは、グループで回数の競争を行うようとする。なお、短なわとびは、なわとびカードを参考にしてなわにかかる回数ではなく、1~3分間を目標に挑戦するようとする。</li> <li>・準備：短なわ（個人もち）、長なわ、距離標識（スタンドやコーン）、なわとびカードなど</li> </ul>				

## 体育科 3年

単元	1.4 センタリングサッカー			1・2月(9時間)
目標	互いに協力し、動きを習得するための練習やみんなが楽しめるルールや作戦を工夫しながら、ねらったところにパスやシュートをしたり、攻めや守りをしたりして、センタリングサッカーをすることができる。			
評価規準	<p>(①知・技) センタリングサッカーの行い方を理解し、スペースへ動いてパスを出したり、受けたり、シュートやドリブルをしたりすることができる。</p> <p>(②思・判・義) みんなが楽しめるセンタリングサッカーのルールを考えたり、空いているところを利用した簡単な作戦を立てたりしている。</p> <p>(③主体的態度) 規則を守り、互いに協力してセンタリングサッカーをしようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○試しのゲームを行い、共通のめあてを立てる。 —共通のめあて— ○作戦を工夫して、たくさんシュートしたり ○パスしたりして、センタリングサッカー大会に挑戦しよう	○センタリングサッカーの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「センタリングサッカーの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのセンタリングサッカーに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	3	活動① ○パスやドリブルのポイントを見付け、ドリルゲームをする。  3 ○スペースへの動きのポイントを見付け、タスクゲームをする。	○インサイドキックの動きのポイントに気付けるように、「軸足」、「足首」を視点として提示する。  ○ドリブルの動きのポイントに気付けるように、「ボールを蹴るところ」を視点として提示する。  ○インサイドキックやドリブルのポイントを意識しながら練習できるように、動きのコツを伝え合う機会を設定する。  ○サポートの動きのポイントに気付けるように、「空いている場所」を視点として提示する。  ○サポートの動きのポイントに気付けるように、「移動する位置」、「タイミング」を視点として提示する。  ○サポートの動きのポイントを意識した動きができるように、動きのコツを伝え合う機会を設定する。	◇ボールの真横に足を置くというインサイドキックのポイントを記述している。 <学習プリント②>  ◇つま先で優しくけるなどのドリブルのポイントを記述している。 <学習プリント②>  ◇ボールの真横に足を置いて、インサイドでパスやドリブルをすることを理解し、センタリングサッカーをすることができる。 <行動①>  ◇パスに合わせて動くというサポートのポイントを記述している。 <学習プリント②>  ◇空いている場所へドリブルに合わせてタイミングよく動くというサポートのポイントを記述している。 <学習プリント②>  ◇ドリブルしたり、スペースへ動いてパスをもらったりすることができる <行動①>
まとめる	2	○センタリングサッカー大会で今までのポイントを踏まえたセンタリングサッカーに挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「センタリングサッカーの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇センタリングサッカーにおけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>
<p><b>【備考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームは、男女混合、等質の6グループを、試しのゲームの様子や個々の運動能力などを基に編制する。</li> <li>・ゲームについては、始めと終わりの挨拶をきちんと整列して行うようとする。</li> <li>・準備：コート3面、ソフトサッカーボール、得点板、ビブスなど</li> <li>・ルール：ハーフコートの攻守交代あり、4対3のゲームで、ゴールキーパーなし。グリッド以外はドリブルなし。両サイドのグリッド内はドリブルあり、ドリブルする人しかいることはできない。ボールをキープしているとき、見方も守りも1m離れないといけない。</li> <li>・コート：縦20m(150mトラックの線)×横16m、ゴールは、エンドラインの中心から両端5mとしコーンを置く。ゴールゾーンは、中心から2m離れたところを最大とし、卵肩の半円を引いてとる。</li> <li>・スペース(ノーマークでボールをもらえる場所)</li> </ul>				

単元	15 リズムダンス			3月(7時間)
目標	友達と関わり合いながら、軽快なロックやサンバのリズムに乗りながら、全身で弾んで踊り、リズムダンスができる。			
評価規準	(①知・技) 体の各部分でリズムをとったり、スキップしたり、弾んで移動したりするなど全身で踊ることができる。 (②思・判・表) リズムの特徴に合った動きをつけたり、踊りの仕方を工夫したりしている。 (③主体的態度) 場の安全に気を付けて友達と進んで協力しながら、気持ちを合わせてリズムダンスを楽しく踊ろうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○試しのリズムダンスをし、共通のめあてを立てる。 <b>共通のめあて</b> <b>リズムにのった弾む踊り方を工夫して、リズムダンスを発表しよう</b>	○リズムダンスの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう、「リズムダンスの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのリズムダンスに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を具体的に記入している。 <行動③>
追究する	3	<b>活動①</b> ○ロックやサンバのリズムを生かした動きを工夫して踊って楽しむ。  1時間目…「速めのロックのリズム」 2時間目…「ゆっくりロックのリズム」 3時間目…「陽気なサンバのリズム」	○「ロック」のリズムの特徴を見付けられるように、「へそ」を観点に、互いの考えを伝え合う場を設定する。  ○「サンバ」のリズムの見本を基に、「サンバ」のリズムの動きの特徴を試す場を設定する。	◇「速めのロック」に合った弾む動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>  ◇「ゆっくりのロック」のリズムに合った動きを体全体を使って踊ることができる。 <行動①>  ◇「サンバ」のリズムに合った弾む動きを体全体を使って踊ることができる。 <行動①>
	2	○グループで音楽を選び、発表会に向けた踊り方を工夫する。	○自分たちの踊りの動きを見る能够ないように、グループに1台タブレットPCを用意する。	◇「ロック」「サンバ」のリズムに合った動きを工夫し、友だちに伝えている。 <行動②>
まとめ	1	○リズムダンス発表会を行い、学習のまとめをする	○これまでの学習の成果を感じられるよう、「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「リズムダンスの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇リズムダンスにおけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>
<b>【備考】</b> 音楽の例：ロック…速い（ドラエモン：星野源、コナンのテーマ、やってみよう：Wanima、前前前世：Rad wimps、踊るポンポコリン、マツケンサンバⅡ） R3 ロック…遅い（夢をかねえてドラエモン、アンパンマン） サンバ（風になりたい：THE BOOM、サンバデジヤネイロ） 流行で子ども達になじみのある音楽を選択する。				

## 体育科 3年

単元	16 毎日の生活とけんこう			3月（5時間）
目標	健康の大切さに关心をもち、健康によい生活の仕方を理解できる。			
評価規準	(①知・技) 健康によい生活の仕方を理解している。 (②思・判・表) 健康によい生活を自分の生活と関わらせながら考えている。 (③主体的態度) 健康の大切さに关心をもち、学習に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
つかむ	1	○健康な状態について話し合う。	○健康な状態に気付くことができるよう、自分の経験を振り返り気付いたことを話し合う場を設定する。	◇健康な状態について関心をもって話し合っている。 <行動③>
追究する	1	○健康な生活の仕方や、体や身の回りを清潔にする方法について話し合う。  ○きれいな空気やちょうどよい明るさを保つ方法を話し合う。	○健康な生活の仕方について考えることができるように、1日の生活の振り返りプリントを用意し、気付いたことを話し合う時間を確保する。  ○教室の明るさについて体験的に捉えることができるように、明るさを測定する器具を用意する。	◇自分の生活と関わらせながら、健康な生活の仕方について、記述している。 <学習プリント②>  ◇自分の生活と関わらせながら、健康によい環境について、記述している。 <学習プリント②>
まとめる	2	○健康に過ごすための生活の仕方の話し合いやまとめのテストを行う。	○健康な生活を送るためにできることに気付けるように、よりよい方法を話し合う活動を設定する。	◇「毎日の生活とけんこう」を学習して理解したことやこれから実践していきたいことを記述している。 <学習プリント①②③>
<b>【備考】</b> ・照度計は保健室にある。				